

消費生活

Consumer

Magazine



令和6年7月1日発行（奇数月1日発行）通巻378号 創刊昭和41年10月1日

2024

7・8

No.378

商品特集

栄養ドリンクでセルフケア！

熱中症予防にのどが渇く前に水分補給！

スメハラ対策に消臭剤・芳香剤

ネットのプラットフォームの責務と課題
高級腕時計に関するトラブルがなぜ続発？
環境大国へインバウンドの功罪



工夫を凝らした新作花火が夜空を彩る
大曲「全国花火競技大会」（秋田県大仙市）

LPガスのカーボンニュートラル

暑い夏を迎えると、地球温暖化が進行して異常気象現象が増えているのを実感する。地球全体でのカーボンニュートラル(排出されるCO₂を人間の活動で吸収・除去し、排出量をプラスマイナスでゼロにする)に早急に取り組まなければならない。LPガス業界でも高効率ガス機器による省エネ・省CO₂の推進やグリーンLPガスで非化石エネルギー導入の拡大を図るなど、快適な暮らしを守るための準備に積極的に取り組んでいる。

「カーボンニュートラル 2050年に実現」に向けて

地球温暖化を阻止するために日本では、二〇二〇年に「二〇五〇年にカーボンニュートラルを目指す」ことを宣言している。また、二〇二一年には二〇三〇年度の新たな温室効果ガス削減目標を二〇一三年度から四六%削減することを目指す方針を示している。

LPガスは、石油や石炭といった他の化石燃料に比べて燃焼時のCO₂排出量が少ないといわれているが、LPガス業界も国内でのグリーンLPガス合成・製造に加えて、海外からグリーンLPガスを輸入することによって二〇五〇年に

は、すべての国内需要のカーボンニュートラル化を目指す。

第一段階である二〇三五年に向けたグリーンLPガスの社会実装を確実に進めて行くための具体策として

- ・ 海外からのグリーンLPガス輸入(含、rDME)に向けた、海外プレーヤーや生産者との連携強化
- ・ バイオガス等を使った地産地消型の国内生産事業の早期の立ち上げと取り組みの加速化
- ・ 省エネ化や燃料転換の促進・カーボンクレジットの利用拡大をあげている。

二〇五〇年時点でのLPガス全量のCN化(約八百万ト)を視野

に、二〇三五年時点での想定需要比(省エネ対応前)一六%(約二百万ト)のCN対応(非化石化)を目指す。

二〇三五年に向けた個別の数値目標と方策については、

- I. グリーンLPガスの輸入として、百万ト(五〇%)を海外での日本企業による製造やプロジェクトからの調達、他に、海外メーカーからのグリーンLPやrDME調達
- II. 国内生産二十万ト(一〇%)は、グリーンLPガス推進協議会による北九州地域での社会実装化や北海道鹿追町等での生産
- III. カーボンクレジットを利用したLPガスを二十万ト(一〇%)まで拡大する。

I~IIIの供給サイドのグリーン化対応の小計は、百四十万ト(七〇%)。

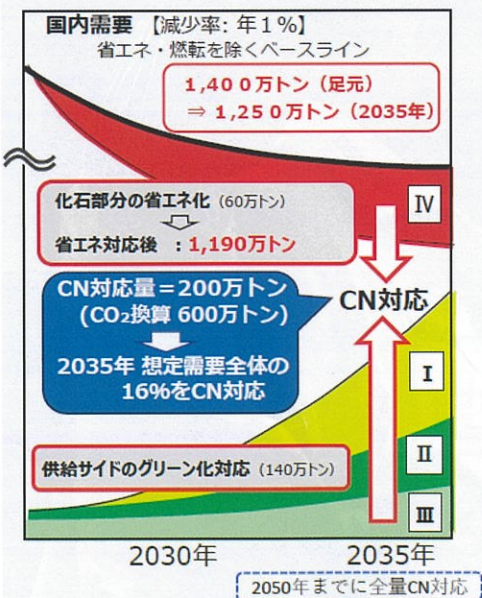
IV. 省エネ化・燃料転換の推進(化石部分の省エネ化(六十万ト(三〇%)は、高効率給湯器の普及

促進(エコジョーズ、ハイブリッド給湯器、家庭用燃料電池の一段の普及促進)と石炭/重油等からの燃料転換等で行う。

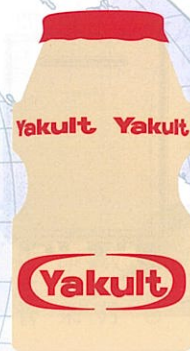
これら合計でCN対応量は二百万トでCO₂換算六百万トとなる。

グリーンLPガスは、再生可能エネルギー(水力、風力、地熱などの発電)から製造した水素と、火力発電所や工業炉から排出されたCO₂、家畜や木くずからできるバイオガスなどを、触媒を使って合成するガス。排出されるCO₂、バイオガスなどの温暖化ガスを回収するためカーボンニュートラルに大きく貢献するという。

LPガスのCN対応に向けた今後のロードマップ



世界で飲まれている、 ヤクルトの 乳酸菌 シロタ株。



ヤクルトの「乳酸菌 シロタ株」は、生きたまま腸までとどく。
あなたの腸にも、遠いあの国のひとの腸にも。「乳酸菌 シロタ株」は、
いまや日本を含む世界40の国と地域^{*}で飲まれています。 ※2024年3月時点

人も地球も健康に
Yakult

[商品に関するお問い合わせ]
ヤクルトお客さま相談センター

0120-11-8960 携帯電話からは ☎0570-00-8960 (有料)へ
受付時間 10:00~16:00 (土日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く)

エネルギーを選ぶということは
家族とその生活を守ること

CO₂排出量が少ない
LPガスは
クリーンで優しい
エネルギーなんです

知ってる!?

地球に優しい



LPガス

日本LPガス団体協議会